

# TOKYO働き方改革宣言

全従業員のワークライフバランスの充実を図るため、フィンスターは当事者意識を持ってこの問題に取り組みます。オンとオフのメリハリをつけることで、生産性を高く保ち少数精鋭の組織を醸成します。

令和2年1月22日  
株式会社フィンスター

## 目 標

### 働き方の改善

残業時間を一人あたり月20時間以内に収めることを目標とします。各自の業務内容を共有し、業務フローの見直しを行い、適宜ツール等を導入することで業務の効率化を図ります。

### 休み方の改善

業務に当たる上で有給を取得することを当然であると考え、年間10日の取得を必須とすることとします。休みを充実させることで、各社員のメンタルバランスを保ちやすい環境を整えていきます。

## 取 組 内 容

### 働き方の改善

勤務時間インターバル制度を採用し、出勤時間を15時間開けることとします。残業や商談が長引いてしまった場合、勤務時間も自ずと伸びてしまうことになるので、必ず出勤の時間間隔を空けるように徹底します。残業が減るような業務フローの見直しも各部署内で実施し、日々ブラッシュアップしていきます。

### 休み方の改善

商談等の影響で1日休みを取得するのが難しいことが多く、有給が取りづらい体制だったので、時間単位での年次有給休暇制度の仕組みを導入します。その日の仕事片付いている日は積極的に取得するよう朝の会議を使って管理職から促し、また管理職自らも積極的に取得するように努めます。